ニュース
図書館から世界が見える　No. 077　千葉県立図書館　2026年３月

世の中で話題になっているニュース等について知り、考えるためのヒントを得られるような資料情報をご紹介します。

クマ被害対策

最近の新聞記事から

「近づくクマ、目覚め間近　盛岡、研究者や自治体職員が警鐘」（朝日新聞　2026年３月23日岩手朝刊23面）
「「緊急銃猟」八戸で初訓練　クマ被害備え　流れ確認」（読売新聞　2026年３月22日青森朝刊23面）

人間とクマの生活圏の曖昧になった結果、人身被害や農業被害などの軋轢が生じています。令和７年度の人身被害は２月末時点で215件237人（環境省）となり、過去最多となっています。

政府は、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の一部を改正する法律」（令和７年４月25日法律第28号）を成立させ、条件付きで市町村が委託した者による緊急銃猟を可能としました。また、クマ被害対策等に関する関係閣僚会議で「クマ被害対策パッケージ」を公表し、専門職員の配置や、個体数管理など、人間とクマのすみ分けのために短期・中期的に取り組むべき対策について整理しています。

クマの出没への対策は、それぞれの地域の実情に応じた準備が必要です。今回は、クマ被害の現状や自治体の対策に関する資料・情報をご紹介します。

【現状編】

サイト名・記事名・書名	URL・出版情報等
野生鳥獣の保護及び管理 ～人と野生鳥獣の適切な関係の構築に向けて～	環境省自然環境局　Web情報 https://www.env.go.jp/nature/choju/index.html
通称「鳥獣保護管理法」に基づく施策に関するWEBサイト。狩猟制度や、鳥獣管理制度の概要についてまとめている。「クマに関する各種情報・取組」には主に国の取り組みのほか、クマの出没・捕獲数、人身被害状況を掲載している。	
エコノミストリポート　増加するクマ被害 生息域の拡大に人慣れも進行 エサになる果樹など管理必要	『週刊エコノミスト』（103巻28号　2025） p38-40　東部　雑誌
保護政策の結果になる個体数の増加や堅果類の豊凶、人間の生活圏にある誘引物の管理など、クマの出没が増加している要因について、また、対策を担う専門家の育成・配置や継続的な住民へ啓発活動について、識者の見解をまとめている。	
アーバン・ベア　となりのヒグマと向き合う	佐藤喜和著　東京大学出版会　2021　図書 西部：6548/6
90年代以降の農地や市街地への出没について、年代ごとに原因や対策を分析している。これからの人口減少社会のなかで、人間とクマが共存してくために必要な対策を提言している。	

【自治体等の対策事例】

鳥獣被害対策コーナー	農林水産省 **Web 情報** https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/index.html
通称「鳥獣被害防止特措法」に基づく施策に関する WEB サイト。自治体向けに、野生鳥獣による農産物被害の情報や、取組事例、対策マニュアルなどを提供している。	
クマ類の出没対応マニュアル 改定版　令和３（2021）年３月	環境省自然環境局 **Web 情報** https://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5-4a/pdfs/manual_full.pdf
クマ被害の軽減と個体数の安定的維持を図るためのゾーニングや、出没原因の除去などの対策について整理している。テーマごとに自治体の事例を紹介し、巻末に都道府県の計画類・サイト情報の一覧がある。	
日本クマネットワーク　JAPAN BEAR NETWORK	日本クマネットワーク **Web 情報** https://www.japanbear.org/report/
日本における人間とクマとの共存をはかることを目的に設立した NGO の Web サイト。報告書のページでは、実態調査に基づく研究報告や、クマ対策事例集を公開している。	

【緊急銃猟】

クマ被害対策としてのガバメントハンター　長野県大町市　緊急連載クマ被害から住民を守る　②	『自治研』（68 巻２号　2026） **雑誌** p78-83　西部
緊急銃猟制度や、同市と関係機関との連携状況などの実施体制について、市職員やガバメントハンターへのインタビューを掲載している。緊急銃猟制度の概要やガイドライン、国の検討委員会の議事録等は、環境省 Web サイト「保護及び管理に係るさまざまな取組　緊急銃猟制度」にある。	

【農業被害対策】

特集「鳥獣被害対策の最新動向」	『果実日本』（2026 年２月号） **雑誌** p25-61　西部
「クマ被害対策パッケージ」において、捕獲、侵入防止、緩衝帯整備が農業集落を守るための基本対応となっている。本号では、電気柵や、辛み成分を利用した侵入防止柵の設置に関する論考を収録している。	
農作物を守る鳥獣害対策　動物の行動から考える　決定版	江口祐輔編著　誠文堂新光社　2018 **図書** 東部：61586/39/18
動物行動学の観点から、鳥獣ごとにとるべき対策を解説している。クマは第５章（p105-118）で扱っている。	

【その他の対策】

クマが出た！助けてベアドッグ　クマ対策犬のすごい能力	太田京子著　岩崎書店　2021 **図書** 中央：J654/ｵｷ
ベアドッグは、クマを森に追い払うための特別な訓練を受けた犬で、NPO 法人ピッキオが軽井沢町でのクマ対策で導入している。また、個体識別によるクマ対策や、生活ごみの管理についても記述がある。	

（インターネットの最終確認日：2026 年３月 24 日）　　作成：千葉県立中央図書館